

令和7年1月10日

報道関係者各位

佐賀県 武雄市役所

## 『防災フェスタ・治水シンポジウム in 武雄』を行います

武雄市は、これまでも地域防災力の向上に向け、自主防災組織等により様々な活動を行っていただいていますが、引き続き、地域全体で防災意識を高め、いざという時に実践できるよう備えておく必要があります。

また、武雄市を包絡する六角川上流域について、九州初となる特定都市河川に指定を受け、 浸水被害軽減に向けた水災害対策について、地元住民との意見交換等も行いながら、現在、 流域水害対策計画の策定に向け関係機関等で検討を行っております。

今回の『治水シンポジウム』では、令和7年1月に流域水害対策計画(素案)が公表される予定であり、この素案をわかりやすく広く市民の皆さんに説明し、その内容やそこまでに至る経過、また対策が今後どのようにまちの発展につながっていくのかなどについて市民の皆さんと共に考えることを目的として開催します。

つきましては、次のとおり開催しますので、報道機関の皆様におかれましては、ぜひご取 材いただきますようお願いいたします。

〇日 時:令和7年1月26日(日)13時00分~17時00分

〇場 所:北方公民館

〇内 容:【第1部】防災に関する講演会 14時~14時50分

・テーマ:『避難所運営を市民と共に 〜熊本地震で得た教訓〜』

・講 師:大塚 和典 氏 (Bosai Tech 株式会社 代表取締役)

【第2部】治水シンポジウム 15時00分~17時00分

・テーマ:『六角川流域水害対策計画を分かりやすく~治水対策をまちづくりにいかす~』

・登壇者: 寺尾 直樹 氏(九州地方整備局 武雄河川事務所長)

: 永松 義敬 氏(佐賀県県土整備部理事)

: 小松 政(武雄市長)

・ ]-ティネーター: 大串 浩一郎 氏(佐賀大学 理工学部教授)

・ アトハイげ-:塚原 健一 氏(九州大学工学研究院付属アジア防災研究センター長)

: 三戸 勇二 氏(UR 都市機構九州支社都市再生業務部まちづくり支援課長)

【防災展示等】13時00分~15時10分

佐賀県防災士会、武雄市社会福祉協議会など

## 一 本件に関するお問い合わせ先 一

武雄市総務部防災・減災課 TEL 0954-23-9223 (第1部及び防災展示について) 武雄市まちづくり部治水対策課 TEL 0954-27-7097 (第2部について)



第1部

防災に関する講演会 14時~14時50分

## 避難所運営を市民と共に~熊本地震で得た教訓~

●講師大塚和典氏(Bosai Tech 株式会社 代表取締役)

(講師からのメッセージ)

突如地震に襲われた熊本、行政も市民もまさか熊本で大規模地震が起こるなんて思ってもいませんでした。地震対策、心の準備のないままに行政職員も市民も何をどうしたらいいのか混乱しました。 避難所の運営、物資の配送、り災証明等、初めて行う業務に戸惑い。市民も初めて避難所での避難生活に困惑。ルールや情報が入らない生活に不安や不満が積もる日々が始まる。

熊本市では市民と共に避難所運営の課題を検証し、改善を行い、次の災害に備え「自助」「共助」「公助」で協力し備えを開始しています。今回はどの様に備えを行っているのかをお話しします。



第2部

治水シンポジウム 15時10分~17時

## 六角川流域水害対策計画を分かりやすく

~治水対策をまちづくりにいかす~

「六角川流域水害対策計画」とは、令和5年3月に特定都市河川に指定された六角川流域で現在策定中の計画です。新たに盛り込まれる治水対策の内容をお伝えしながら、これからのまちづくりにどういかしていくのか議論します。

● **登壇者 寺尾直樹 氏**(九州地方整備局 武雄河川事務所長)

永松義敬 氏(佐賀県県土整備部理事)

小松 政 (武雄市長)

アドバイザー 塚原健一 氏(九州大学工学研究院附属アジア防災研究センター長)

三戸勇二 氏 (UR都市機構九州支社都市再生業務部まちづくり支援課長)

ロビーほか

防災展示等 13時~15時10分 まで

佐賀県防災士会、武雄市社会福祉協議会、公益社団法人シビックフォース 一般社団法人おもやい、株式会社サガシキ、株式会社日産サティオ佐賀

【問合せ先】武雄市 総務部 防災・減災課 武雄市 まちづくり部 治水対策課 TEL(0954)23-9223 anzen@city.takeo.lg.jp TEL(0954)27-7097 chisui@city.takeo.lg.jp